

A 欧 文

A-a

1. Iwamoto M, Makiyama K, Takeshima F, Mizuta Y, Omagari K, Yamakawa M, Murata I, Funatsu S, Haraguchi M, Itsuno M, Ifuku M, Fukuda H, Kohno S: Superficial depressed type (c) early cancer of the colon: Report of two cases, *Acta Med Nagasaki*, 42, 56-59 (1997)
2. Shikuwa S, Senju M, Tanaka H, Kusano M, Matsuda G, Omagari K, Mizuta Y, Takeshima F, Makiyama K, Ito M, Sekine I, Kohno S: Progressive systemic sclerosis associated with primary small cell carcinoma of the stomach, *J Gastroenterol* 32, 582-542 (1997) *

B 邦 文

B-a

1. 鶴田英夫、小田英俊、吉田登、村瀬邦彦、伊津野稔、竹島史直、大曲勝久、水田陽平、牧山和也、草野裕幸、綾部公懿、林徳真吉、津田暢夫、河野茂：消化管出血を伴い短期間に形態が変化した胃の転移性脂肪肉腫の1例、消化器内視鏡、9、1786-1791 (1997)
2. 林田研司、大井順二、大曲勝久、牧山和也、河野茂：肝細胞癌に対するCO₂ microbubble混和エタノールによる経皮的エタノール注入療法を試み、日本消化器病学会雑誌、94、730-738 (1997)
3. 池田幸紀、大曲勝久、鬼塚康徳、松尾健吾、生野信弘、松尾功、木下秀樹、水田陽平、牧山和也、河野茂：C型慢性肝炎のインターフェロン治療との関連が示唆された大腸アフタ様病変の1例、消化器内視鏡、9、401-404 (1997)
4. 水田陽平、野元健行、梶山浩史、南野淳、南野康、矢野良嗣、福田康弘、山澤紀子、牧山和也、原口増穂、伊津野稔、井上健一郎、宿輪三郎、松永圭一郎、河野茂：結節集簇様大腸病変の内視鏡診断と治療法の検討、*Gastroenterol Endosc*, 39, 169-174 (1997)
5. 朝長道生、内田孝俊、久野博、井関充及、小松浩平、竹島史直、水田陽平、牧山和也、河野茂：右半結腸に発生した広汎な虚血性大腸炎の1例、長崎医学会誌、72、77-81 (1997)
6. 竹島史直、大曲勝久、小田英俊、水田陽平、牧山和也、河野茂：小柴胡湯による薬剤性肝障害の1例—構成生薬成分のリンパ球刺激試験を加えて—、消化器科、24、579-582 (1997)
7. 磯本 一、松永圭一郎、大谷博、下川功、竹島史直、大曲勝久、水田陽平、牧山和也、河野茂：石灰沈着を伴った胃癌の1例、*Gastroenterol Endosc*, 39, 665-670 (1997)
8. 磯本 一、松永圭一郎、下川 功、竹島史直、大曲勝久、水田陽平、吉田 彰、河野 茂：肺癌肉腫の空腸転移による消化管出血の1例、*Gastroenterol Endosc*, 39, 1254-1259 (1997)
9. 磯本 一、松永圭一郎、宿輪三郎、大福地 恵、水田陽平、牧山和也、河野 茂：Gastrospirillum hominis感染を伴った胃体部胃炎の1例、*Gastroenterol Endosc*, 39, 68-72 (1996)
10. 千住雅博、梅根良彦、松田源治、石川 啓、岩崎啓介、竹島史直、牧山和也、水田陽平、河野 茂：小腸X線検査で術前に診断しえた成人例出血性Meckel憩室の1例、長崎医学会誌、71、392-396 (1997)
11. 澤 隆文、久保啓吾、濱岡昭博、坂口洋司、久保謙平、松尾俊和、地引政晃、國崎忠臣、関根一郎、水田陽平、竹島史直、河野 茂：脾漿液性嚢胞腺腫と鑑別が困難であった脾solid cystic tumorの1例、脾臓、12、511-516 (1997)

B-b

1. 牧山和也、竹島史直：潰瘍性大腸炎の治療の最先端 ステロイドの使い方 (1) 経口、臨床消化器内科、12、1407-1413 (1997)
2. 牧山和也、竹島史直：炎症性腸疾患の内科的治療の進歩—最近の臨床試験成績を中心に—、*Frontiers in Gastroenterology*, 2, 33-42 (1997)
3. 牧山和也、竹島史直：クローン病における拡大内視鏡観察の意義、消化器内視鏡、9、1752-1756 (1997)
4. 竹島史直、牧山和也：クローン病の難治性痔瘻に対する高圧酸素療法、*Modern Physician*, 17, 1338 (1997)
5. 竹島史直、牧山和也：クローン病の病態、*Modern Physician*, 17, 733-736 (1997)
6. 竹島史直、牧山和也：過敏性腸症候群、総合臨床、46、313-317 (1997)
7. 竹島史直、牧山和也：偽膜性腸炎の治療、*Modern Physician*, 17, 1237 (1997)

B-c

1. 牧山和也、竹島史直：潰瘍性大腸炎—up to date、カレント内科 No.12 大腸疾患、79-88 (1997)
2. 牧山和也、福田博英、伊津野稔：偽膜性大腸炎、カレント内科 No.12 大腸疾患、17-25 (1997)
3. 牧山和也：潰瘍性大腸炎の内科的治療の進歩、最新内科学大系 プロGRESS 8、289-300 (1997)
4. 竹島史直、牧山和也：直腸および大腸の内視鏡検査、内科診療Q & A、650-651 (1997)
5. 牧山和也：IBDに対する免疫療法のコセンサス&コントラバーシー、消化器病 UP TO DATE、121-123(1997)
6. 竹島史直、牧山和也：当施設における胃・十二指腸潰瘍の診断と治療、当施設における胃・十二指腸潰瘍の診断と治療、256-263 (1997)
7. 牧山和也：色素散布を併用した大腸拡大内視鏡のコツ、消化器内視鏡のコツと落とし穴、48 (1997)
8. 竹島史直：ホットバイオプシーの適応と偶発症、消化器内視鏡のコツと落とし穴、124-125 (1997)

B-d

1. 牧山和也、竹島史直、水田陽平、岩本美智子：潰瘍性大腸炎の長期経過中の血清ECP値上昇の臨床意義、厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班 平成8年度研究報告書、50-51 (1997)
2. 岩本美智子、牧山和也、和泉伸一、中根一穂：潰瘍性大腸炎および正常粘膜組織におけるFASおよびCEAの発現調節因子結合蛋白の局在証明、厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班 平成8年度研究報告書、52-53 (1997)

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1997	2	0	0	0	2	1	11	7	8	2	28	30

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1997	0	0	1	1	0	2	41	43	44

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1997	0.067	1	0.5	0.5

Impact factor値一覧

	Impact factor	1教官当たりImpact factor	論文当たりImpact factor
1997	0.484	0.242	0.484